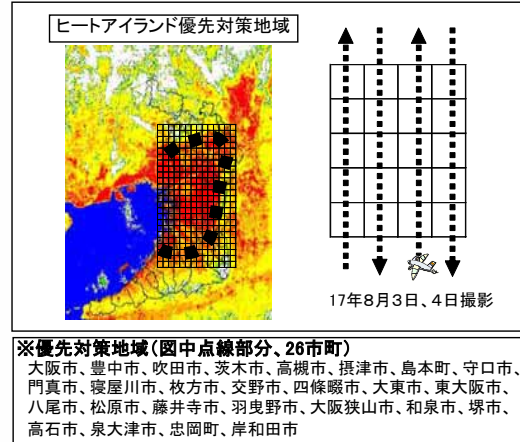
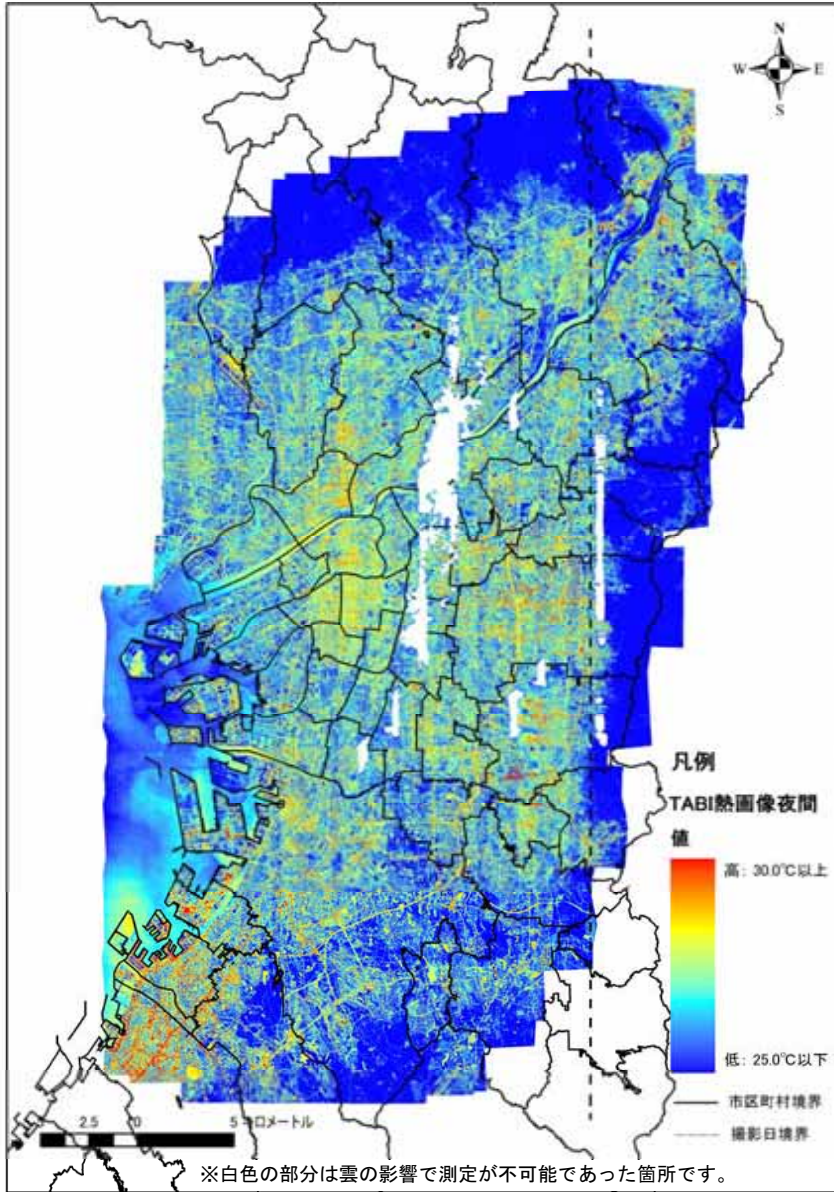


熱画像—夜間撮影範囲全体図—(8月3日21時に補正)



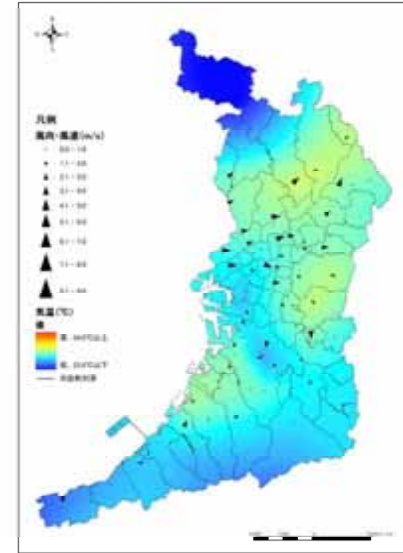
【左図】熱画像(速報)

- 「大阪府ヒートアイランド対策推進計画(H16.6策定)」における優先対策地域を中心に地表面の温度を測定しました。
- 今回撮影した熱画像の中でも、夜の寝苦しさに関係する「夜間の熱画像」が重要です。
- この画像から大きな傾向としてわかること
 - ・業務集積地域、交通量が多い地域など人工排熱が大きい地区は、地表面温度が高い。
 - ・周辺山系、大規模公園、緑地の地表面温度は低い。
 - ・淀川等、内水面の表面温度は海水温より高い。
- 詳細な分析については、今後、検討を進めてまいります。

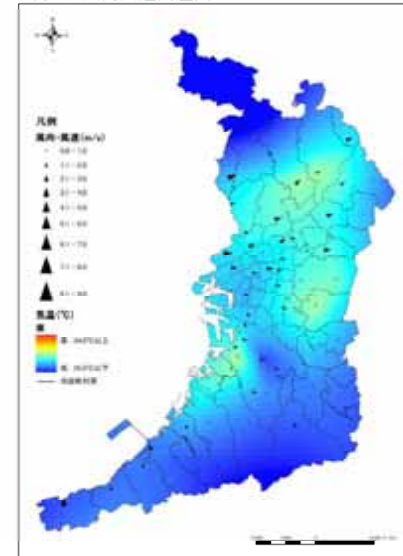
熱画像と同日の気温分布図からわかること【右図】

- 同時刻の気温図と熱画像の間には類似性が見られます。
- 気温図から、8月3日21時から0時の間に、気温があまり低下しない地域(大阪市域、北大阪地域、東大阪地域)が概ね分かります。今回撮影した熱画像を活用することで、より詳細に地域を絞り込んでいくことが可能となりました。
- 今後は、この熱画像をもとに今年度末までに「熱環境マップ」を作成し、市町村等と協議の上、対策地域を具体的に絞り込んでまいります。
- また、絞り込んだ対策地域において、効率的かつ効果的なヒートアイランド対策を実施し、目標である熱帯夜数の削減を目指します。

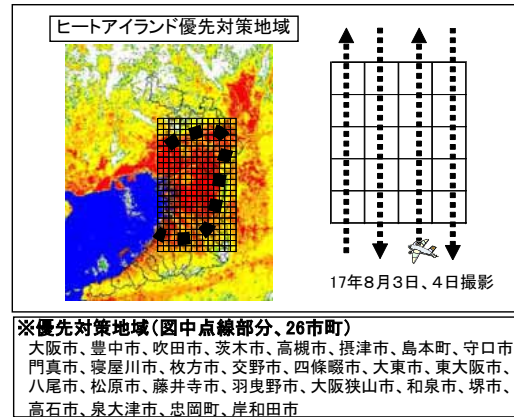
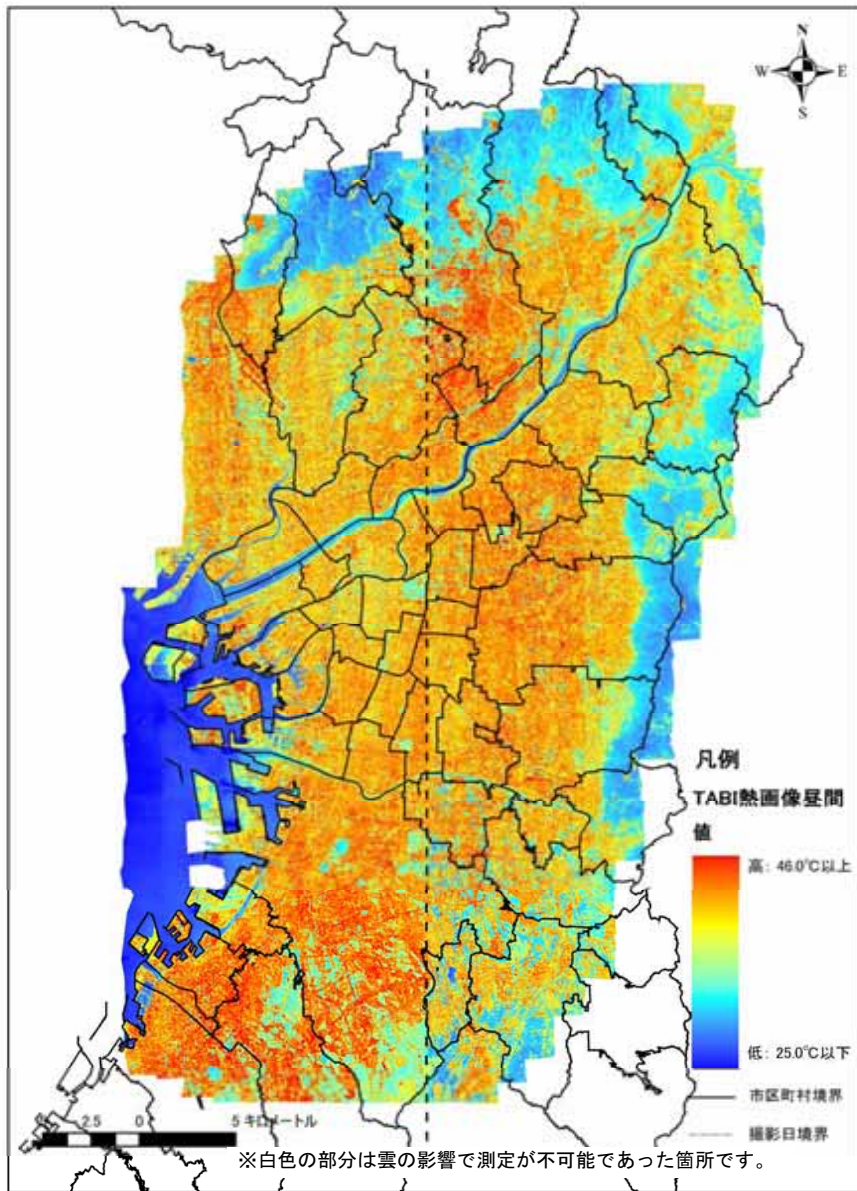
8月3日風向風速気温図 21:00



8月4日風向風速気温図 0:00



熱画像－昼間撮影範囲全体図－（8月3日13時に補正）



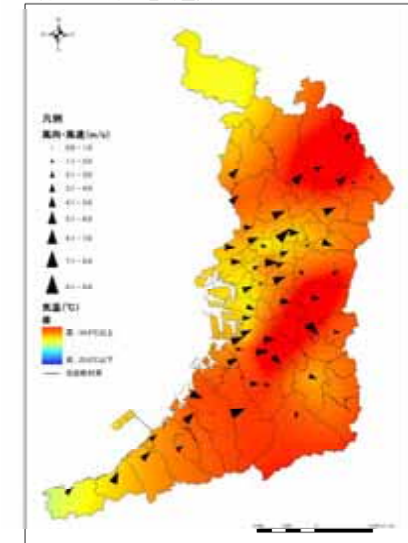
【左図】熱画像(速報)

- 「大阪府ヒートアイランド対策推進計画(H16.6策定)」における優先対策地域を中心に地表面の温度を測定しました。
- 今回撮影した熱画像の中で、主に太陽熱の影響が反映されているのが「昼間の熱画像」です。
- この画像から大きな傾向としてわかること
 - ・市街化区域で地表面温度が高い。
 - ・大阪市中心部の地表面温度が周辺に比べ、やや低い。この理由として、全体的に中心部は建物が高く影が多いことなどが考えられます。
 - ・周辺山系、大規模公園・緑地、農地やため池などの農空間、淀川・大和川等の水面の表面温度は低い。
- 詳細な分析については、今後、検討を進めてまいります。

熱画像と同日の風向風速気温分布図からわかること【右図】

- 同時刻の気温図と熱画像の間には類似性が見られます。
- 8月3日13時及び15時の風向風速気温図から類推すると、大阪湾沿岸の北部で海風が強く、気温が低下しています。(海風の届きにくい内陸部の気温が高くなっています)
- 日中の熱環境の改善を図り、体感的な温度を下げるため、今回撮影した熱画像をもとに今年度末までに「熱環境マップ」を作成し、市町村等と協議の上、対策地域を具体的に絞り込んでまいります。

8月3日風向風速気温図 13:00



8月3日風向風速気温図 15:00

